

一般社団法人室内環境学会 2021 年度 第 2 回臨時理事会議事録

日 時：2021 年 1 月 28 日（木）17:00～19:30

場 所：オンライン会議室

出席者

理事：山口一（理事長）、関根嘉香、篠原直秀、中島大介、水越厚史、鍵直樹、三宅祐一、Tin Tin Win Shwe、
徳村雅弘、一條佑介

監事：野口美由貴

事務局：橋本一浩（事務局長）、萬羽郁子（会計）、野村佳緒里、色摩操

オブザーバー：佐藤博、吉田俊明

本理事会は総理事数 10 名のうち過半数である 10 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は山口理事長が務めた。

議事次第：

1. 2021 年度第 1 回通常理事会議事録 → 承認された。

2. 2020 年学術大会報告

一條理事より 2020 年学術大会について報告があった。口頭発表 77 題、現地参加者 130 名、オンライン参加者 30 名強、機器展示 11 社と盛況な大会となった。例年と異なりオンライン配信のための出費が発生したが、収支は黒字になる見込みとのこと。大会長奨励賞を 4 題、大会長技術賞を 3 題、大会長優秀学生賞を 6 題に授与した。出席理事より大会長奨励賞の規定よりも授与数がやや多いと指摘があり、学術委員会を中心に改定を検討することになった。

この後、実行委員会を開催して大会を総括し、収支決算とともに最終的な報告を次回理事会にて行う予定とのこと。

3. 各委員会活動計画

学術委員会：従来の活動を踏襲し、各分科会の支援、研究助成金の交付を実施していく。分科会への活動費の入金方法を工夫し円滑にしたい。また、学会賞など新たな表彰制度を検討したい（中島委員長）

事業委員会：コロナ禍であり、今年も従来のような講演会を実施するのは難しいと考えている。オンライン講演会への移行を中心に検討したい（篠原委員長）。

出版委員会：今年も学会誌を 3 号発刊する。また、Web 未公開の学会誌掲載記事を J-stage や学会 HP で閲覧できるようにする。この作業をアルバイトとして学生会員に委託したい（徳村委員長）。

広報委員会：例年通り、学会 HP、大会 HP、Facebook などの運営を行う。また、出版委員会と共同で学会誌掲載記事の HP アップロード作業を実施していく（水越委員長）。

社会連携委員会：2022 年に国際シンポジウム開催を予定しており、台湾、韓国だけでなく、他国の研究者へも講演の打診をしたい（三宅委員長）

標準法認定管理委員会：例年通り、標準法および商標の審査・認定を行う（鍵委員長）

関西支部：京都で学術大会を開催する予定であり、関西支部が主体となって準備を進めている（吉田支部長）

九州支部：恒例となっている支部主催の研究発表会（第 14 回）は、コロナ対策のためオンライン開催と

する予定。更に新たなオンラインセミナーの開催も検討している。また、九州支部の HP を作成したいと考えており、広報委員会に相談したい（佐藤支部長） → 広報委員会でも前向きに検討していく（水越広報委員長）

東北支部：例年通りの活動を予定している（一條理事） → 燃焼分科会の活動との境目が曖昧になってきているので、切り分けを明確に（篠原理事）

新型コロナウイルス WG：公共施設や交通機関の感染対策をテーマに調査を実施している。現在は「災害時の避難所」の感染対策のため、都内の体育館から協力を得て調査に取り組んでいる（篠原理事）

室内環境辞典編集 WG：朝倉書店から出版予定の「室内環境の辞典」について、3 月中には著者へ執筆依頼を行う予定で準備を進めている（関根理事）

4. 2021 年学術大会準備状況

吉田関西支部長より、京都で開催予定の 2021 年学術大会の準備状況について説明があった。会場開催することを前提に準備を進めているが新型コロナウイルスの流行状況は相変わらずであり、オンライン開催にするのか、昨年のように現地・オンラインのハイブリット開催とするのか、早めに方向性を決断してほしいとの要望が理事会にあった。これに対し、理事が意見交換を行い、現地・オンラインのハイブリット開催を視野に準備を進めていくことで一致した。

5. その他

- ・事務局より 2021 年 1 月 13 日～2021 年 1 月 22 日の入会承認者 3 名（法人会員 1 社、正会員 2 名）のリストが報告された。また、最近の入会希望者 1 名（正会員 1 名）のリストが示され承認された。
- ・会員動向として、2021 年 1 月 28 日時点で正会員 348 名、法人会員 55 社（団体）、学生会員 45 名、シニア会員 11 名であると報告された。
- ・委員会等の活動計画書は年度始め（10 月）に提出しているが、年度末までに提出した方が良いと意見が出された。今後は 8 月中に次年度の計画書を提出することとなった。
- ・学会 HP 掲載記事の引用・転載の問合せがあった際には、広報委員会での可否を審議することとなった。
- ・事務局長と会計は学会事務局として独立しているが、理事職として理事会の一部にするべきでは、と意見が出された。今後、検討を進めることとなった。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

篠原直秀

印

徳村雅弘

印

鍵 直樹

印

水越厚史

印

三宅祐一

印

Tin Tin Win Shwe

印

一條佑介

印